

令和 4 年 度

財政事情と主要な施策の成果

魚沼地区障害福祉組合

第1 魚沼地区障害福祉組合会計の状況

1 決算の概要

(1) 決算収支

魚沼地区障害福祉組合会計の決算額

歳入 463,581千円(令和3年度 413,300千円)

歳出 454,391千円(令和3年度 388,640千円)

前年度に比べて歳入歳出は次のようになりました。

歳入 50,281千円増(12.2%増)

歳出 65,751千円増(16.9%増)

形式収支

令和4年度の形式収支(歳入歳出差引額)は、9,190千円となりました。

(令和3年度 24,660千円)

実質収支

令和4年度の実質収支(形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額)は、9,190千円となりました。

(令和3年度 24,660千円)

単年度収支

実質収支9,190千円から、前年度実質収支24,660千円を差し引いた単年度収支額は、▲15,470千円となりました。

(令和3年度 ▲15,847千円)

実質単年度収支

単年度収支に財政調整基金積立金1千円を加え、これから当該年度において取り崩した財政調整基金繰入金15,000千円を差し引いた実質単年度収支額は、▲30,469千円となりました。

(令和3年度 ▲15,845千円)

(3) 歳入の状況

ア 歳入科目別内訳

(単位：千円)

区		分	令和4年度	令和3年度	増 減	
分 担 金 及 び			313,134	311,611	1,523	
負 担 金	市 町 分 担 金	経 常 費 分 担 金	60,000	60,000	0	
		施 設 整 備 費 分 担 金	39,891	39,954	▲ 63	
	負 担 金	児 童 福 祉 費		213,243	211,657	1,586
			市 町 居 宅 生 活 給 付 費	13,822	12,469	1,353
				10,686	9,137	1,549
				障 害 児 童 施 設 利 用 者 負 担 金	1,510	1,872
		社 会 福 祉 費	居 宅 生 活 支 援 利 用 者 負 担 金	1,626	1,460	166
				199,421	199,188	233
			市 町 施 設 入 所 支 援 介 護 給 付 費	168,807	168,379	428
			市 町 居 宅 生 活 支 援 費	10,717	10,968	▲ 251
			施 設 支 援 介 護 利 用 者 負 担 金	19,449	19,384	65
			居 宅 生 活 支 援 費 利 用 者 負 担 金	448	457	▲ 9
県 支 出 金			50,204	60,558	▲ 10,354	
	県補助金		1,013	582	431	
	県委託金	児 童 福 祉 費 委 託 金	7,065	8,597	▲ 1,532	
	施設給付金	障 害 児 童 施 設 給 付 金	42,126	51,379	▲ 9,253	
財 産 収 入	基金及び積立金	27	35	▲ 8		
寄 附 金	寄 附 金	90	90	0		
繰 入 金	基 金 繰 入 金	74,950	0	74,950		
繰 越 金	前 年 度 繰 越 金	24,660	40,507	▲ 15,847		
諸 収 入			516	498	18	
	雑 入	516	498	18		
組 合 債	組 合 債	0	0	0		
歳 入 合 計			463,581	413,300	50,281	

ウ 諸収入の内訳

(単位：千円)

区 分		令和４年度	令和３年度	増 減
雑 入	更生園作業収入	45	72	▲ 27
	実習生受入謝礼	63	78	▲ 15
	会計年度任用職員 雇 用 保 険 料	154	122	32
	共済保険料還付金	135	66	69
	保険等事務手数料	10	47	▲ 37
	私用複写機使用料	1	1	0
	公 衆 電 話 委 託 使 用 料	0	1	▲ 1
	自 動 販 売 機 設 置 負 担 金	5	11	▲ 6
	不 用 鉄 屑 当 売 払 い 金	0	23	▲ 23
	新型コロナウイルス 感染症見舞金	45	0	45
	建物災害共済金	53	77	▲ 24
	調 査 委 託 費	5	0	5
合 計		516	498	18

(5) 年度別の主な請負工事と購入備品

(単位：千円)

年 度	金 額	項 目
令和元年度	4,928	魚沼更生園男子トイレ修繕工事
	1,298	監視カメラ設置工事
	1,177	パソコン入替購入費(9台)
	1,792	公用自動車購入費
	468	移動用スピーカー・アンプセット
	64	液晶テレビ 魚沼学園入替備品
	1,735	全自動洗濯機 他魚沼更生園入替等備品
計	11,462	
令和2年度	2,673	魚沼更生園管理棟トイレ改修工事
	1,518	魚沼更生園居室2室化改修工事
	1,287	魚沼更生園受水槽ポンプ入替工事
	1,199	魚沼更生園居室等エアコン更新工事
	1,177	魚沼更生園屋根裏コウモリ駆除対策工事
	814	業務用乾燥機入替工事
	482	体育館FF暖房機取替工事(2台)
	473	魚沼更生園コードレス電話設備増設工事
	406	魚沼更生園換気扇等更新工事
	210	魚沼更生園防犯灯、駐車場照明取付工事
	1,210	利用者外出用公用自動車購入費
	439	パソコン入替購入費(3台)
	57	3連スクリーン
	88	非接触型検知器サーモマネージャー 魚沼学園入替備品
	145	全自動洗濯機入替購入(3台) 魚沼更生園入替備品
計	12,178	
令和3年度	1,980	魚沼更生園居室2室化改修工事
	1,914	魚沼学園女子浴室改修工事
	1,298	業務用洗濯機入替設置工事
	1,045	魚沼更生園女子便所修繕工事
	704	魚沼更生園2階廊下照明器具更新工事
	99	柘植10本伐根処理作業
	96	魚沼更生園観察室モニター取付工事
	64	木製ベッド購入費
	250	全自動洗濯機入替購入費(2台)
	442	パソコン購入費(3台)
	99	ファイル共有NAS入替購入
計	7,991	
令和4年度	59,950	魚沼更生園外部改修工事
	385	魚沼更生園居室エアコン更新工事
	517	職員室照明器具更新工事
	187	パソコン購入費(1台)
	326	ネットワークサーバ機器
計	61,365	

(7) 基金積立金の状況

項 目 別	令和3年度末残高	令和4年度中増減			令和4年度末残高	備 考
		積 立 額	取 崩 額	額		
施設整備基金	137,973	26,894		59,950	104,917	
財政調整基金	70,537	1		15,000	55,538	
計	208,510	26,895		74,950	160,455	

(単位：千円)

(8) 地方債現在高の状況

発行 年度	区 分	令和3年度末 現 在 高	令 和 4 年 度				借入先	借入利率	その他借入条件
			発 行 額	償 還 金		年度末 現在高			
				元 金	利 子				
26	社会福祉施設 整備事業	97,685	0	7,203	671	7,874	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26	施設整備事業 (一般財源化分)	130,988	0	10,076	642	10,718	新潟県市町村 振興協会	0.5% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26繰越	社会福祉施設 整備事業	104,563	0	7,412	719	8,131	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
26繰越	施設整備事業 (一般財源化分)	133,980	0	9,570	132	9,702	新潟県市町村 振興協会	0.1% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	社会福祉施設 整備事業	2,411	0	171	17	188	地方公共団体 金融機構	0.7% (固定)	元利均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
27	施設整備事業 (一般財源化分)	45,276	0	3,234	44	3,278	新潟県市町村 振興協会	0.1% (固定)	元金均等半年賦償還 (3年据置／17年償還)
	計	514,903	0	37,666	2,225	39,891			

(単位：千円)

歳出について

歳出総額は、454,391千円となり、前年度決算額（388,640千円）対比65,751千円（16.9%）増額となりました。その主な特徴は以下のとおりです。

① 2款「総務費」関係

1項1目の一般管理費において、ネットワーク管理サーバの更新に関わる役務費の増額及び新型コロナウイルス感染予防対策の関係経費である通信費等の増額により対前年度比1,611千円の増額になりました。

1項2目の財産管理費において、工事請負費で、魚沼更生園外部改修工事費、59,950千円、魚沼更生園居室エアコン更新工事費385千円、職員室照明器具更新工事517千円、また、パソコン購入費187千円、ネットワーク管理サーバ機器購入費326千円を執行しました。

1項3目の基金費では、利子分の積立として1千円を財政調整基金に積増し、利子分と前年度の繰越額の26,894千円を今後の施設整備の備えるため施設整備基金に積増しました。その他事務的経費の支出抑制に努めた結果2款全体では、予算現額に対して5,317千円が不用額となりました。

② 3款「民生費」関係

1項1目児童福祉総務費では、職員の配置の増及び新型コロナウイルス対応に関する職員人件費で2,808千円の増額、給食業務委託の更新により給食業務委託料が761千円増額となり総務費全体では対前年度比3,189千円の増額となりました。

魚沼学園利用児童に対する飲食物費、日常諸費を含む指導訓練費は、サービス利用減少により1,000千円の減額で12,524千円を執行しました。

2項1目社会福祉総務費では、職員人件費で4,628千円の増額、給食業務委託料1,522千円増額等で総務費全体では対前年度比4,924千円の増額となりました。

魚沼更生園利用者に対する飲食物費、日常諸費を含む指導訓練費は、新型コロナウイルス感染防止対策のため帰省中止等の影響で1,547千円の増額で30,451千円を執行しました。

なお、利用児童、利用者に必要な備品の購入はありませんでした。

③ 4款「公債費」関係

魚沼学園建替事業の財源として、平成26年度及び平成27年度に発行された組合債の元金及び利子償還分39,891千円を執行しました。

魚沼更生園【定員 40 人／在籍 40 人】

ア 年齢別利用者数

		年齢別利用者数																										(人)
性別	年齢	19	20	24	27	35	36	37	38	42	43	44	45	46	47	48	49	51	52	53	55	57	59	62	64	67	計	
		2	1	1	1	1	1	1	1		1	3		4		2		2	1		1	1	1			1	26	
	女				1			1		2		2	2	1		1			1	2	1						14	
	計	2	1	1	2	1	1	2	1	2	1	5	2	5		3		2	2	2	2	1	1			1	40	

イ 障害支援区分認定別利用者数

								(人)	
		区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計	
男				1	5	10	10	26	
女					5	5	4	14	
計				1	10	15	14	40	

※ 主な合併症の症状

- ・てんかん
- ・ダウン症
- ・自閉傾向
- ・情緒不安
- ・身体障害
- ・難聴
- ・橋本病
- ・痛風
- ・脂質異常症
- ・アトピー性皮膚炎

(2) 市町別在籍者数

											(人)	
区分	市町	長岡市		小千谷市	十日町市	南魚沼市	湯沢町	津南町	魚沼市	構成市町外	合計	
		旧山古志村	旧川口町									
魚沼学園	男			1	2	4		1	3		11	
	女				2				1		3	
	計			1	4	4		1	4		14	
魚沼更生園	男		2	5	1	8			10		26	
	女	1		6		3			4		14	
	計	1	2	11	1	11			14		40	
合計		1	2	12	5	15		1	18		54	

3 職員の状況（令和5年3月31日現在）

施設	配 置	正 職 員										会計年度任用職員	合計	
		園 長	庶務課			指導・支援課					計			
			課 長	係 長	主 事	課 長	課 長 補 佐	係 長	児 童 指 導 員	保 育 士				生 活 支 援 員
魚 沼 学 園	[1]	[1]	1	[1]	1		1		6		1	10	4	14
魚沼更生園	1	1	[1]	1	1	1	[1]			13	1	19	12	31
計	1	1	1	1	2	1	1		6	13	2	29	16	45

* 『[]』は兼任を表し、合計値には反映しない。

* 正職員数には休職職員を含み、会計年度任用職員数には一時的雇用及び短期労働者を含まない。

4 施設運営・支援の概要

(1) 施設運営について

① 魚沼学園

福祉型障害児入所施設として、今年度は入所定員 21 人に対して 13 人でスタートしました。年度途中に 2 人の入所と 1 人の退所があり、年度末には 14 人が在籍しています。内訳は、措置児童 1 人、契約児童 13 人です。

また、在宅の方の支援として日中一時支援事業と空床型短期入所事業を行いました。

② 魚沼更生園

指定障害者支援施設として、今年度は入所定員と同じ 40 人でのスタートとなりました。年度途中で 2 人の入所と 2 人の退所があり、年度末の入所者は 40 人となっています。

また、在宅の方の支援のため空床型短期入所事業及び空床型通所生活介護事業を行いました。

(2) 利用児者の支援について

利用児者に対する支援サービスについては、魚沼学園では児童発達管理責任者、魚沼更生園ではサービス管理責任者を中心として、利用児者の意向、適性、障害の特性、保護者の希望やその他の事情を踏まえた個別支援計画を作成し、これに基づく支援サービスを提供しました。

また、新型コロナウイルス感染症による制約が多い中で、利用児者が楽しめる

当組合では、退職職員の補充を非常勤職員等で対応していた時期が続いた結果、年齢の偏り等による組織の弱体化、短期間での職員の入れ替わりによるサービスの質の低下等が懸念される事態となっておりました。現在でも職員の約4割を会計年度任用職員が占めており、人材確保が非常に厳しい状況の中で安定した施設運営とサービスの質の確保・向上のために計画的な職員採用とキャリアに応じた研修の機会の確保が重要となっています。

(3) 施設の老朽化対策

魚沼更生園は建築から39年が経過して老朽化が進んでいることから、屋根と外壁の大規模修繕を行うとともに、計画的に設備や居室の改修を行っています。

基本的に4人部屋といった設計思想の古さに加え、利用者の加齢に伴うバリアフリー化や安全対策等も検討していかなければなりません。今後は地域包括ケアをはじめとする制度の動向等も勘案しながら、施設運営の方向性を検討する必要があります。

さらに、プールや体育館についても建築から45年以上が経過しており計画的な改修が必要な時期にきています。

(4) 組合構成市町からの財源負担等について

魚沼学園、魚沼更生園とも、公立の一部事務組合施設であるため、給付費の算定において一般の社会福祉法人より減算されており、収支の不足については組合構成市町からの分担金で補わざるを得ません。また、令和17年度までは魚沼学園建替事業に係る起債の償還も続きます。

このため、サービスの質の確保と効率的な施設運営といった全体のバランスに配慮しながら、過度な財政負担を避けていく必要があります。